

慈明院寺報七月号

灯火の功德



写真は当院の施餓鬼法会で本堂に飾られた灯籠である。灯籠を点して供養する施餓鬼法会は、夏の仏教行事として、日本のお寺では広く行われている。三界万靈（全ての生き物の靈）に供養を捧げて、家族やご先祖の平穏無事を祈るという法会である。



*ご供養をお申し込み頂いた紙灯籠は、お盆（八月十五日）まで本堂に安置してご供養致します。またお盆の灯りとしてお持ち帰り頂けます。法会終了後、希望される方は灯籠をお渡しします。

灯火は盆提灯とも呼ばれ、日本のお盆行事を代表する風物詩である。その昔お釈迦様が盂蘭盆会（夏の先祖供養）に出てきた蛇を追い払うために、灯火を用意させ、火に夏虫が飛び込んで死なないように、薄布で灯火を覆わせたという故事に由来するという。盆提灯は先祖の靈がお盆に帰つてくる目印となり先祖の魂を導く灯台のような存在とされている。

灯火は、仏さまの智恵（物事の相を照らし、誘惑を断つてくれる力・働き）を象徴し、無明（無知・苦をもたらす原因・迷い・煩惱・愚かさ）を消滅させる功德をあらわす。仏壇の前に心静かに座り、火をおこしローソク（灯火）を点ける。お清めの意味もある灯火で、お香（線香）を焚いて仏様のお食事であるお香を供養する。灯火が仏壇の目印としてご先祖様を導いてくれる。

お盆のおまいりについて

各檀家様には、七月中旬に「お盆まいりのお知らせ」をお送りさせて頂きます。お忙しい時期とは存じますが、宜しくお願ひ申し上げます。隨時、お参りについてのお問い合わせ、変更等承ります。



住職のひとりごと

先月一日より慈明院開山五十周年・記念営繕の為のご寄付をお願いしております。本当にたくさんの方々にご協力賜り、ありがとうございます。営繕工事や備品修理の手続きも、順調に進めております。また記念誌や返礼品を準備させて頂き、十一月頃にお送りしたいと思います。感謝九拜。

お施餓鬼 灯籠供養法会のご案内（別紙参照）

来る令和七年 七月二十六日（土曜日）夕方七時より

＊紙灯籠に亡くなつた仏様の戒名や、先祖供養を謹書して灯籠に火を点し夕闇の中、数人の僧侶で読経してご供養を勤めます。どなたでもご参拝頂けます。

仏壇の灯火は、仏教の開祖であるお釈迦様の遺言『自燈明・法燈明』にも通じており、「自分自身を頼りとし、仏法（眞理）を頼りとしなさい」という意味も持つてゐる。自分自身と仏法を信じて、それらを道しるべとして人生を歩み人々が幸福である事を、お釈迦様は最後の言葉に込められたのである。

マツチ売りの少女じやないが、仏様の智恵の灯火おひとついかが？ 住職 合掌

住職・吉住大慈 携帯電話〇九〇一（五二八一）一七四九四

慈明院（〒八一一一三一 福岡市早良区大字西二三四一—二〇）

TEL（〇九二）八〇四一四五七〇 FAX（〇九二）八〇四一四六〇五